

山名 南アルプス 鋸岳 (2685m)
日時 2018年2月25日(日)～26日(月)
参加者 大内、大内(涼)

- 2/24(土) この時期、大内の仕事は繁忙期なので22時30分に大阪発となる。途中、PAで仮眠をしながら現地に向かい、日が変わった4時半頃に「道の駅南アルプスむら」に到着した。
- 2/25(日) 晴のち曇
- 5時半起床、7時前、戸台川河川敷駐車場へ出発。予習では戸台大橋を過ぎてすぐの分岐を右へ進むはずだったが、「駐車場へは直進」の看板があったのでそれに従う。旧橋本荘を過ぎると道幅が狭くなり、これで合っているのか恐る恐る進んだが、無事駐車場へ着いた。
準備をしていると4人が乗った車が到着した。福井山岳会の人たちで同じルートを登るとのこと。日～月曜の日程で来るのは自分達だけだなあと思っていた、と互いに話す。
- 7時40分 駐車場出発。ダート道を歩く。堰堤を1つ越え、取水場のような2つ目の堰堤も越える。ここまで右岸を歩く。この後、渡渉をするポイントを探してうろうろする。濡れるのが嫌で私は裸足になり渡渉した。
- 9時09分 階段のある3つ目の堰堤。左岸のはるか前方にピンクテープが揺れる木が見えた。が、角兵衛沢は右岸にあるということで右岸を進む。岩がごろごろして歩きにくい。4つ目の堰堤はど真ん中を越えた。これは左岸に、普通に歩いて越えられる登山道がある。帰りに発見。
出発から2時間を超え、そろそろ角兵衛沢の入り口に着いてもよさそうだが、と話しながら右岸をうろうろする。例の道標(2014年3月の記録の1枚目の写真)が見あたらない。ザックを置いてうろうろする。そんな時、対岸の小い沢の出合に下りてきた2人がいた。歌宿沢(アイスクライミング?)から下りて来たようだ。道を聞くタイミングを逃す。すると福井山岳会の人たちが追い越して行った。ザックを取りに戻り、もう少し進むと右岸に大きなケルンが見えた。ここが角兵衛沢の入り口だった。
- 10時53分 角兵衛沢登り開始。木に打ち付けたブリキの看板に「角兵衛沢1合目『へ』」と書いてある。ここは一合目とちゃうんや…。気が萎える。時間が押しているので気になる。トレースはしっかりしておりピンクテープもあった。福井山岳会の人たちと抜きつ抜かれつで登る。
- 12時00分 角兵衛岩小屋(?)。ここで追いついた福井山岳会のリーダーの方に「そういえば…アルデ山岳会には岡さんという女性がいらっしゃいませんか?」と聞かれた。以前、岡さんが一緒に登っていた女性とこの方が知り合いで、その縁で岡さんのことも知っているとのこと。岡さんはよく登れる人だったとおっしゃっていた。
余談になるが、実は岡さんの話はあっちこっちで聞く。以前はパンプでシニアクライマーの人が「あの子はよお登れる、上手い子やったわあ〜。」と話をしているのを聞いたし、ロッジ大阪店の店員さんも岡さんのことを話されていた。そんな岡さんと赤蜘蛛に登りに行ったことはひそかな自慢だ。
- 12時50分 ガレ場に突入。右手奥に壁が見える。あれが角兵衛大岩?岩というより壁やん。積雪はところどころでスネの真ん中あたりになる。いつの間にか福井山岳会の人たちと交代でラッセル。
- 15～16時 雪質が悪くなかなか進まない。締まった雪で歩きやすくなったかと思うと、グラニュー糖が積もったような雪になったりと数メートルおきに雪質が変わり、リズムが作れずなかなか進まない。気がつくとも16時半。上を見ると雪がなくなりガレ場が見えた。そろそろコルダと思うが時間が…。福井山岳会の人たちも時間が、ということで右側の樹林帯までトラバースしテント場を決めた。大内が、(今立っている)沢の真ん中に張ろうと言うが、上部の岩が落ちてきたらまともに当たるし、風も当たるのでこちらトラバースし福井山岳会の隣にテントを張った。
- 17時30分 テントを設営して水を作ってご飯の用意をして、と忙しい。やはり15時にはテント探しを開始しなくてはと反省。
- 20時半 就寝。雪がちらついていたがいい方に予報は外れ、覚悟していたほどの天気の崩れはなかった。

2/26 (月) 快晴

4 時 起床

6 時 40 分 出発。ガレ場を避け雪のある沢の右端を登る。ここも福井山岳会の人たちと交代でラッセル。

7 時 20 分 角兵衛沢コル。第一高点までの途中で振り返ると、中ア、北ア、行く手左側にハケ岳とパノラマが広がる。

8 時 12 分 第一高点・鋸岳頂上 (2685m)。この後、狭い稜線を歩き小ギャップへ 8m ほどの懸垂下降。懸垂後に登る斜面には、鎖が設置されていたが鎖通しのラインは岩が逆層でアイゼンの前爪を立てるスタンスがない。大内は右側を登ったが、握る草がべろりと剥がれ落ちるイヤなラインで、福井の人たちが登る鎖の左側のラインを登った。階段状になっておりこちらの方でよかった。

9 時 22 分 鹿窓へは小さいルンゼを 5m ほどいったん下り、V 字方向に登り返す。

9 時 28 分 鹿窓。ここからは広い尾根歩き。快適。第二高点から甲斐駒ヶ岳への長い稜線が見えた。

10 時 20 分 大ギャップへ懸垂下降。メンバーが入り交じったこともあり、使ってくださいよ、とおっしゃっていただき、福井山岳会のロープを使わせてもらう。懸垂をした後、池ノ谷ガリーよりいやらしいガレ場を下り、シャクナゲとハイマツの上に乗っかっているだけの雪面をラッセルで登り返して第二高点到着 (11 時 40 分)。

11 時 50 分 「中ノ川乗越へ」のブリキ看板がある場所からそのまま広いルンゼを歩いて下りればよい。福井山岳会の人たちが斜面を横切ったので付いて行ってしまったが、微妙な斜面がイヤで途中で懸垂した。

13 時 手間取ってしまった。もう 1 時だ。広いガレ場のコルから熊の穴沢を下りる。上部は雪がうっすらだったが下るほど深くなりまたラッセル。角兵衛沢より深い。そして暑い。持っている水分が少ないので衣類調整をしながら下りる。

15 時頃 樹林帯に入る。福井山岳会はラストスパートをかけ先に行ってしまった。ぼちぼち、でも気合いを入れて休憩なしでひたすら下る。

16 時 20 分 熊の穴沢出合。出合へ出る直前が強烈なガレ場。というか崩壊地。振り返って愕然。ここを登る人がいるのか？登ろうと思う人がいるのか？
沢水を汲みヘッドランプを準備し、駐車場へ向かってさらに 2 時間の歩き。素直にピンクテープに従い戸台川左岸を歩く。凍っているが歩きやすい。歩き出してから 5 分ほどで、前日探していた角兵衛沢の立派な標識を見つける。登山道沿いにあったのか…。ここからほんの 5 分で歌宿沢出合。

17 時 39 分 階段のある堰堤に着いた。そろそろ暗くなってきた。日の入りの時刻は過ぎた。ここからが核心やのに。ヘッドランプ歩行になりそうやなんて (またか!)。ダート道が切れたところで渡渉。渡渉後、リボンと道がない。前日渡渉するのに入り込んだ藪の中に入ると確信しているがどの辺りにいるか見当つかない。完全に暗くなってしまった。残雪についた足跡をたどるが、時々獣のものをたどってしまい行ったり来たり。下流に向かって歩けばいいが変なところに出たくない。ああ、どうしよう。大内が偵察に行きリボンを見つけてくれたのでその方向に進むがまた道がなくなる。単なる登山道ならここまで焦らないが、川の中洲におり合流したり別れたりをする流れにいつ行く手を阻まれるか…。しかしここは冷静に。踏み跡や人の足跡を見つけては下流へ進む、を繰り返す。広い河原へ出た。えらく時間が経過したような気がする。ヘッドランプの明かりの先に堰堤のようなものがうっすら見える。地面を見ると砂利を蹴った跡が見える。それをたどり左岸から右岸方向へ進む。前日、こんなところで沢を横切った記憶がないが、しゃべりながら歩いていたので意識せず横切っていたのだろう。堰堤が見えた。右側に崩れた斜面が出てきた。「あ、これ来しな下りたよな？」越えると駐車場から歩いて来たダート道まっすぐ延びていた。ああ、これで帰れる。

19 時 駐車場着。次はこの時間に入れる風呂探した。予習で営業しているか不明だった仙流荘がお風呂だけ (宿泊施設は冬期休業) 営業していたので助かった。



大きなケルンがある角兵衛沢入り口。左へ向かう



右側の壁が角兵衛沢大岩？壁...やけど。



角兵衛沢上部。背後に南アルプス林道が見える



2日目。角兵衛沢コルから第一高点への登り



鹿窓へは小ルンゼを下りV字方向に登り返す



どこ歩くの？戸台川との出合で振り返った熊の穴沢